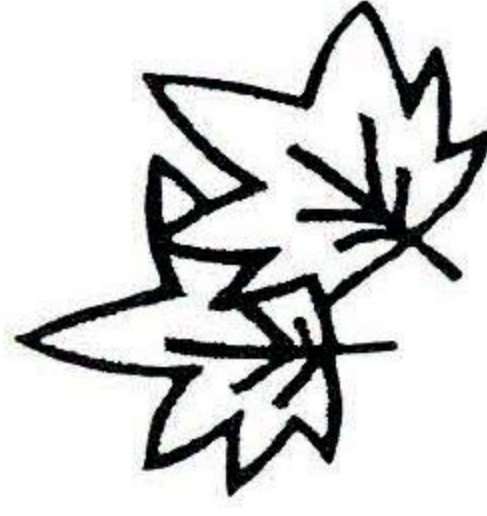


付

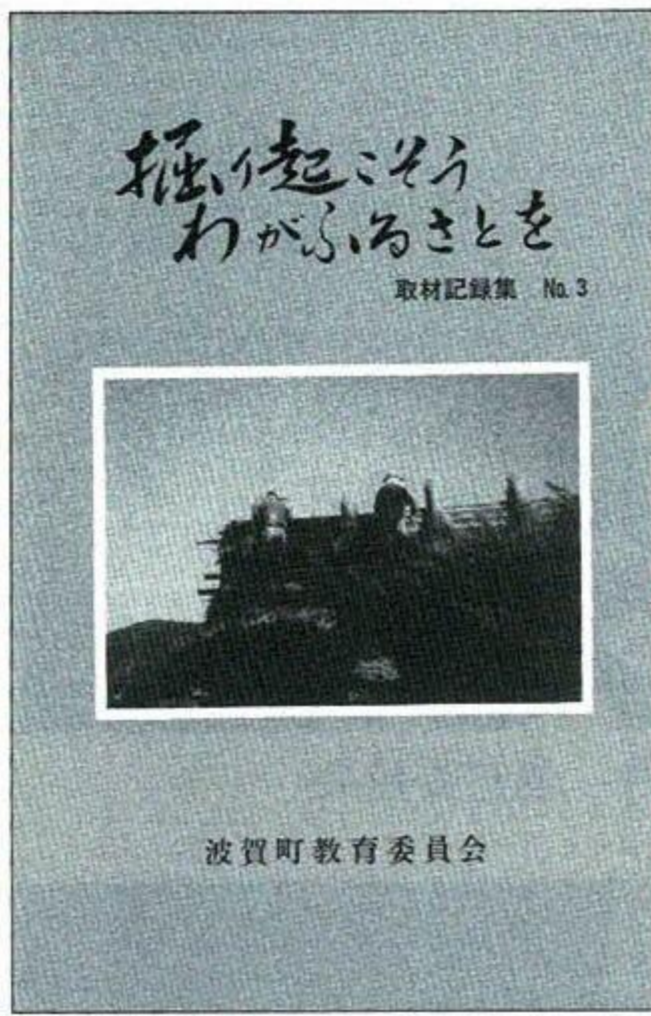


録

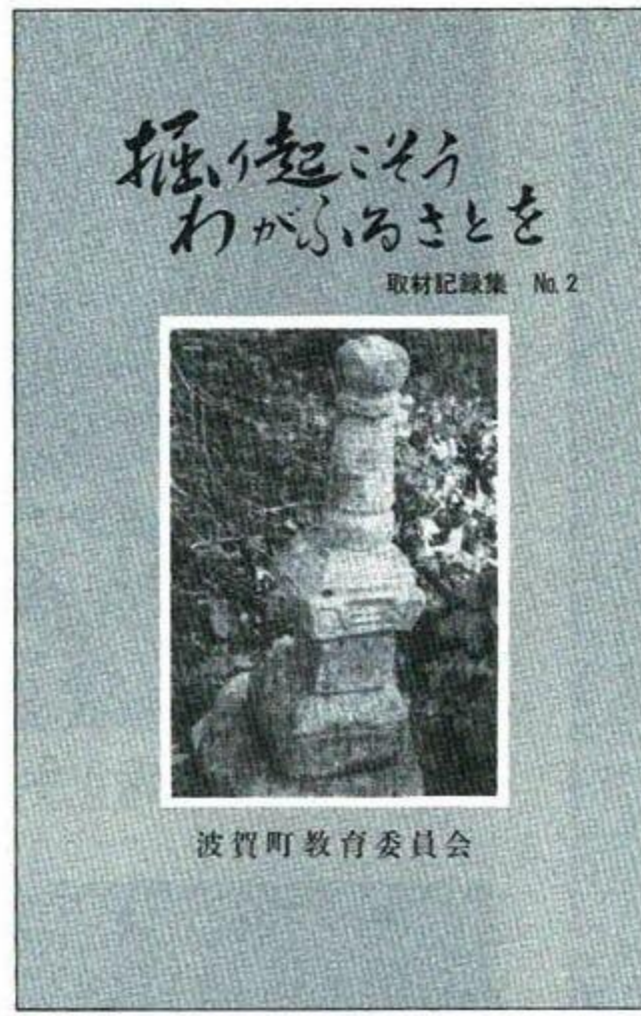


メイプル大学院の歩み

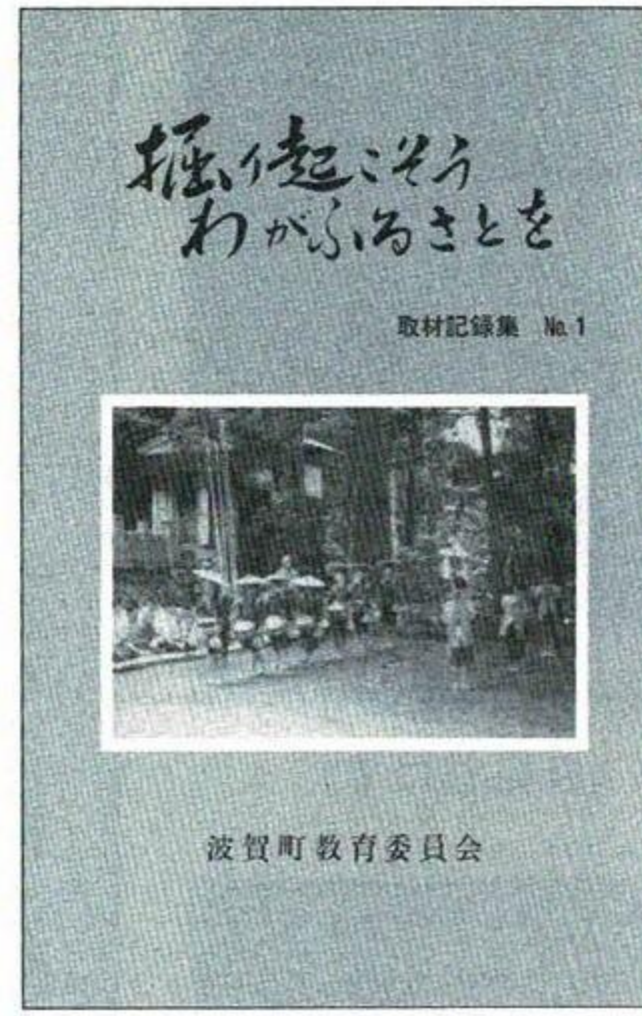
社会人学級『波賀町民大学』第一期卒業生を対象に平成四年四月メイプル大学院を開校、毎月の学習講座に加え、取材記録集『掘り起こそうわがふるさと』の取材及び執筆活動に着手、平成六年八月第一集発刊。以後毎年一集を発行し、平成十五年八月第十集を発行。平成十六年三月、総集編刊行に至る。



第3集 平成8年8月



第2集 平成7年9月



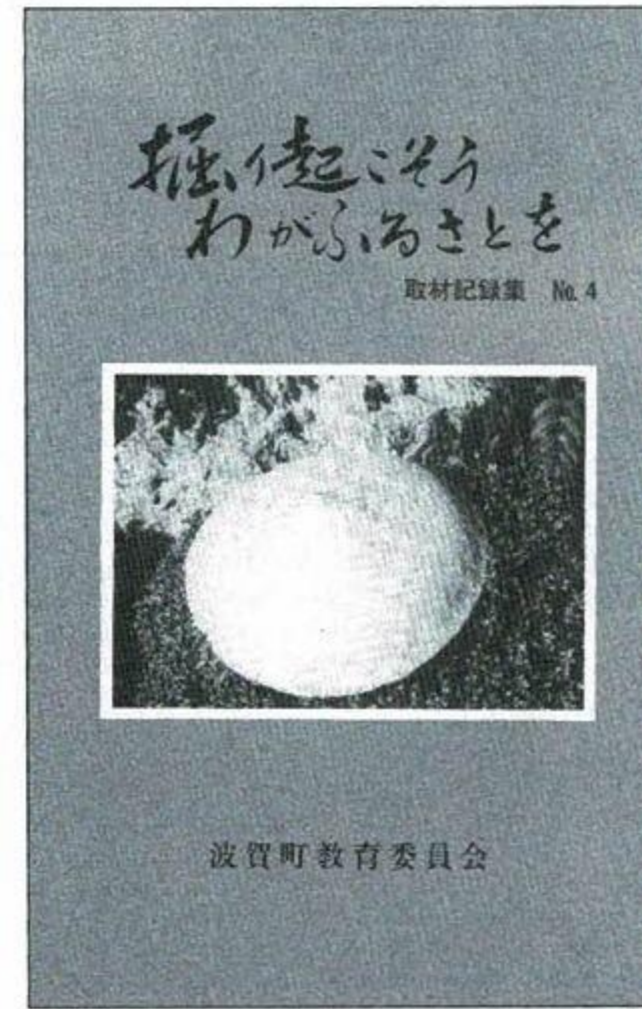
第1集 平成6年8月



第6集 平成11年8月



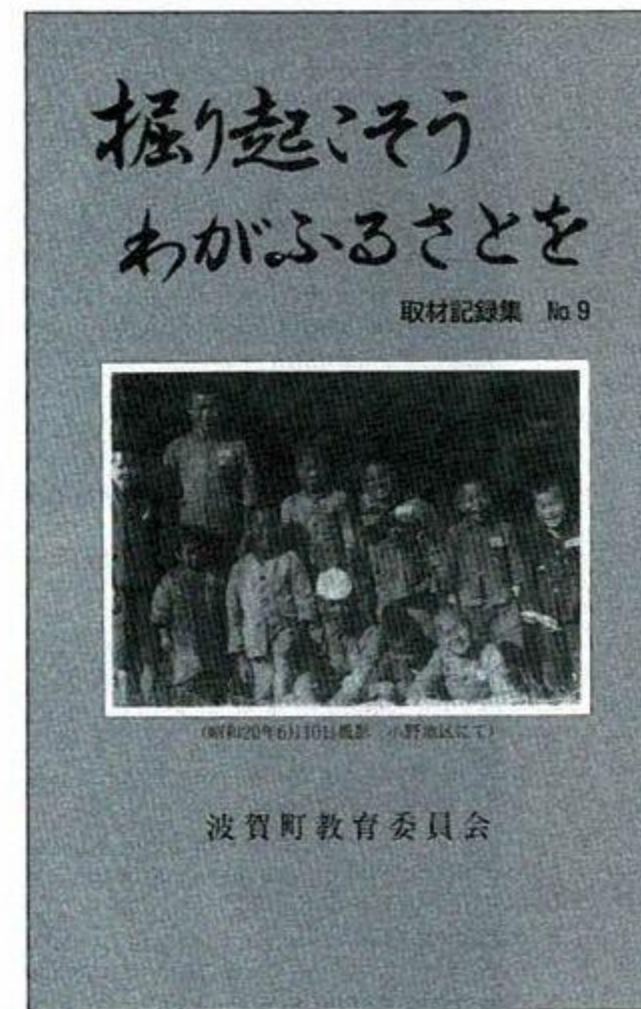
第5集 平成10年7月



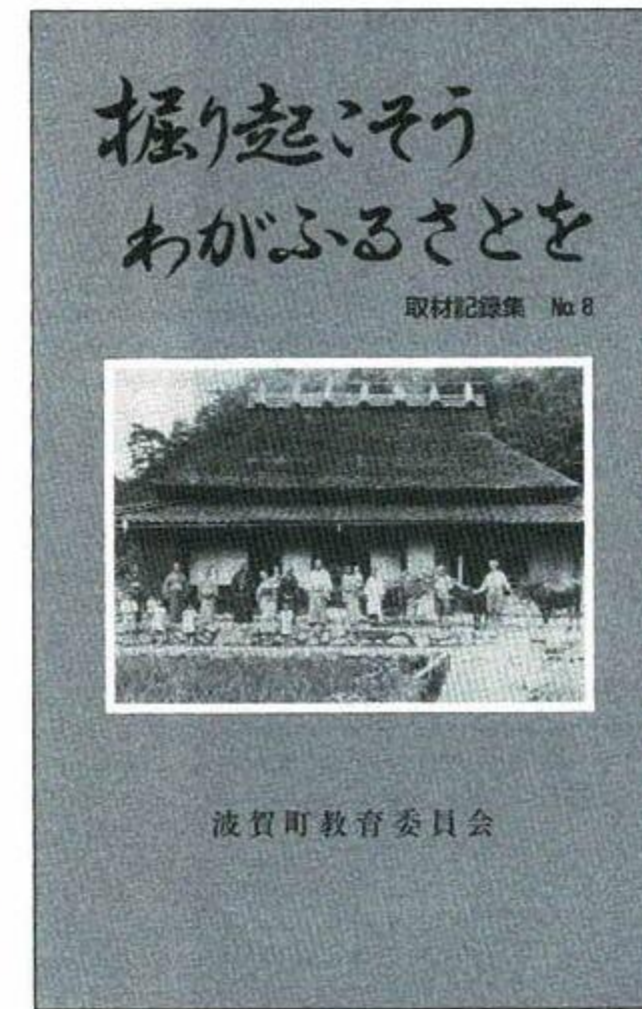
第4集 平成9年10月



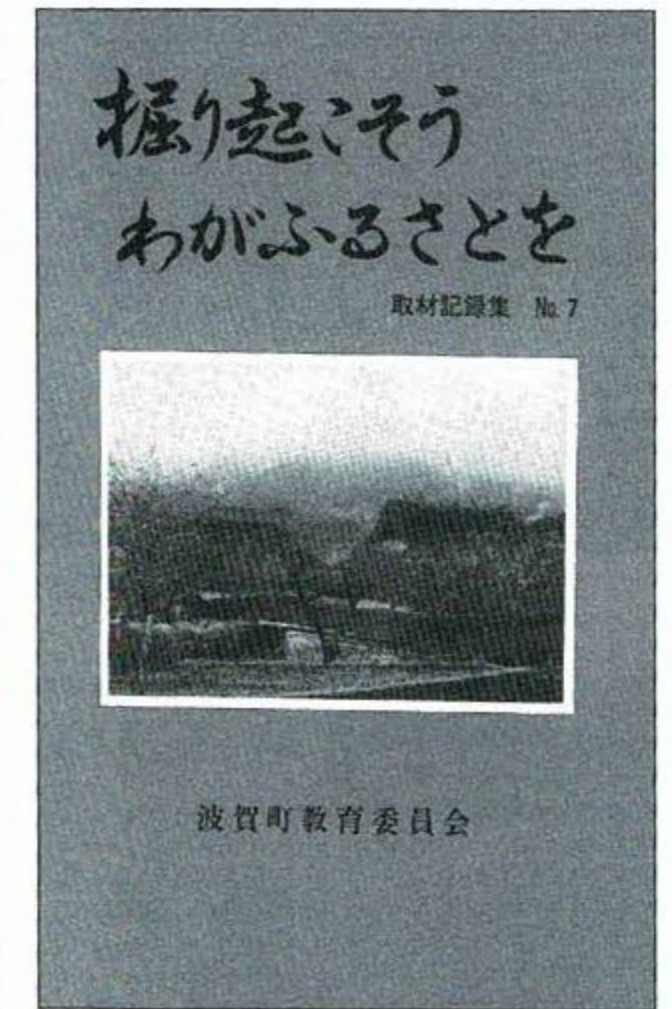
第10集 平成15年8月



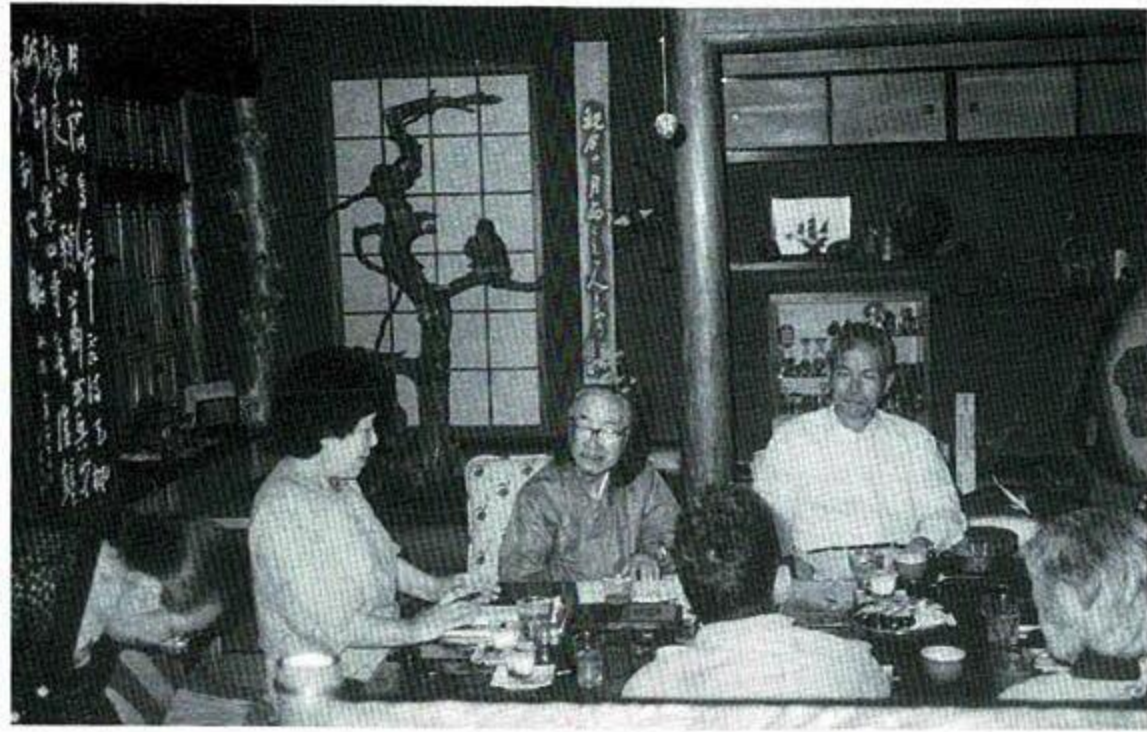
第9集 平成14年8月



第8集 平成13年8月



第7集 平成12年8月



第1集発行に向け取材風景（日見谷にて）

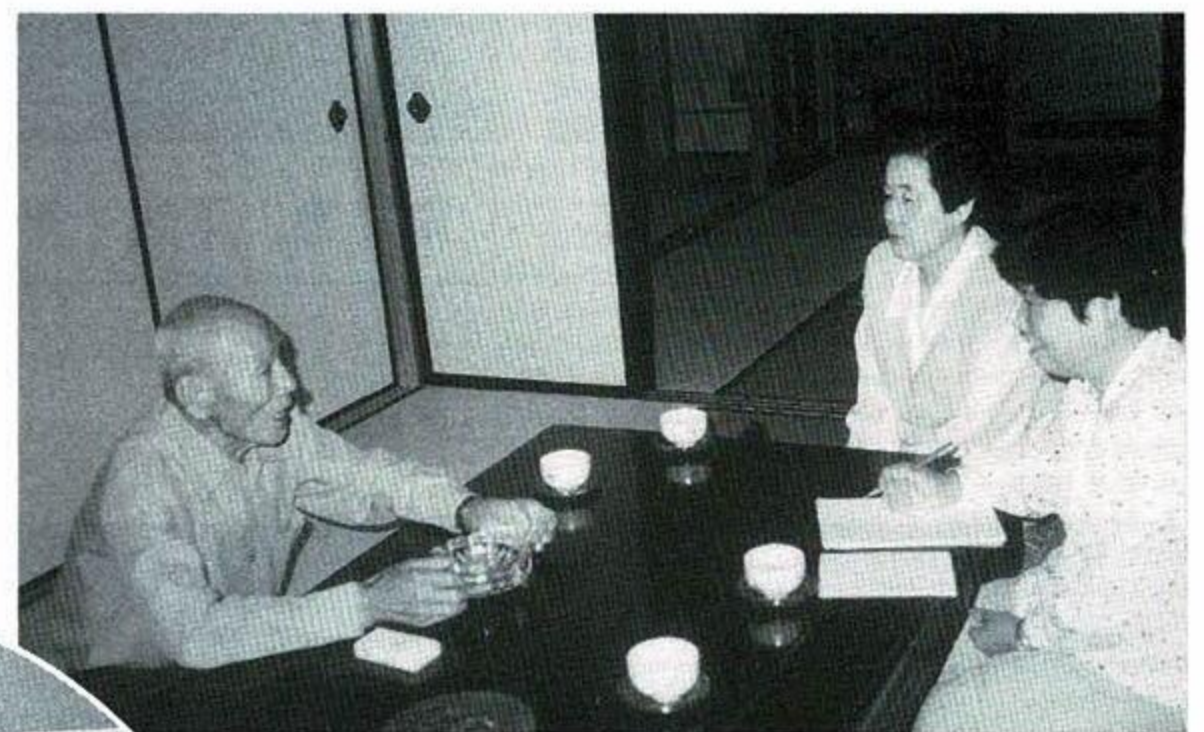
メイプル大学院活動風景



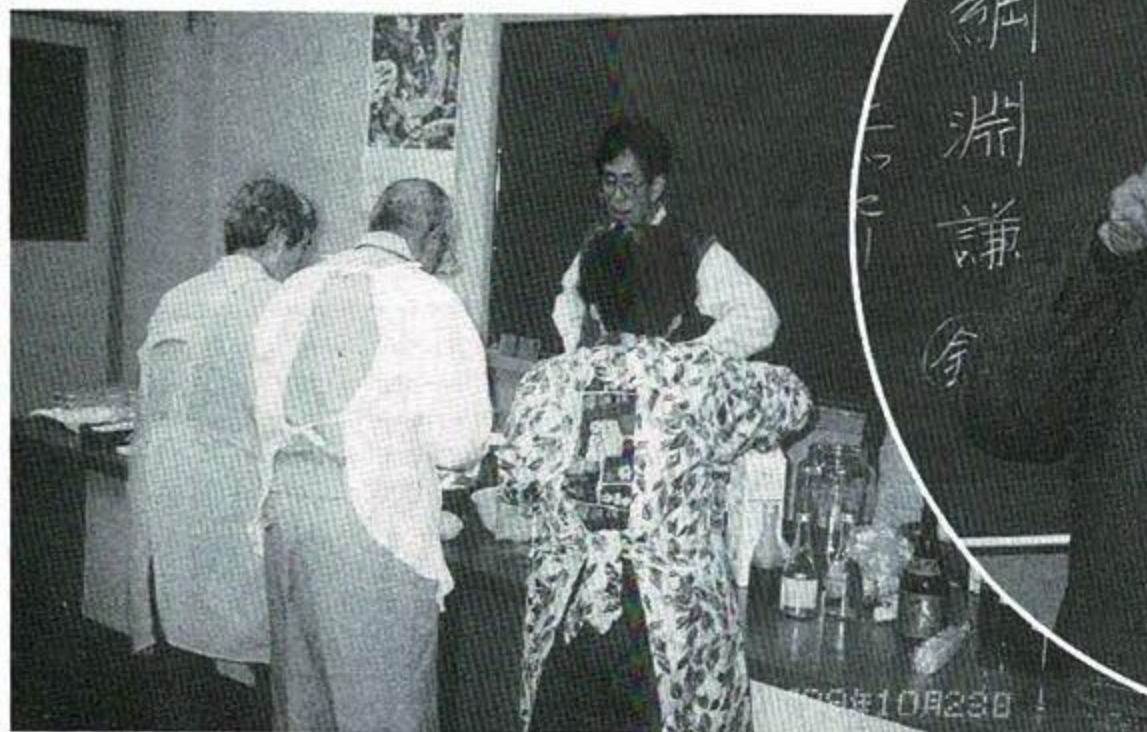
平成5年3月 運営委員会



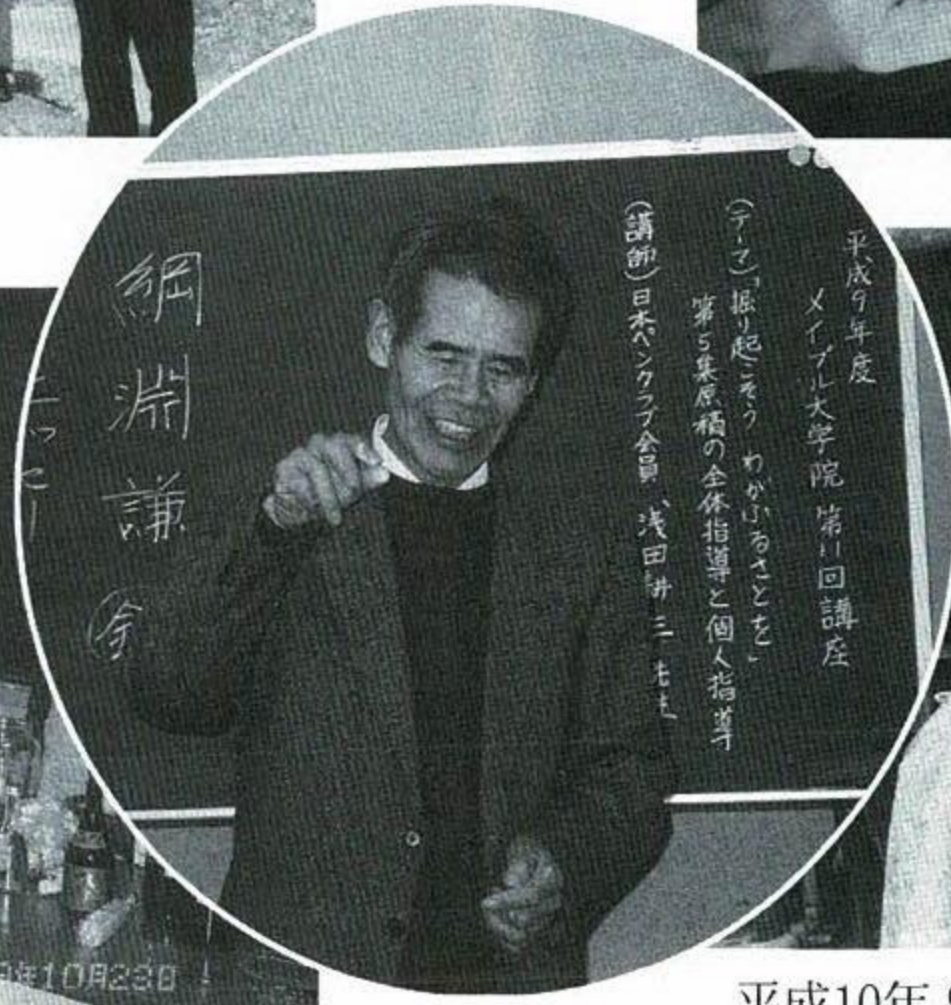
平成5年 町外研修



第1集発行に向け取材風景（谷にて）



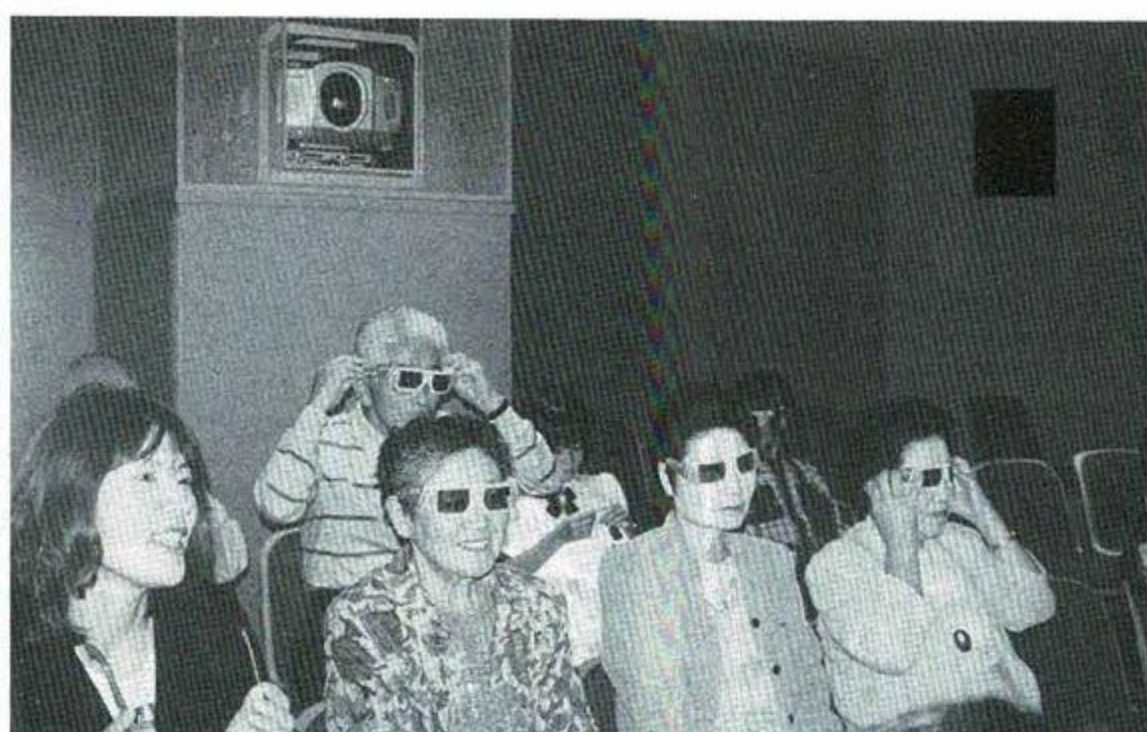
平成11年10月 「プライベートワインを作ろう」



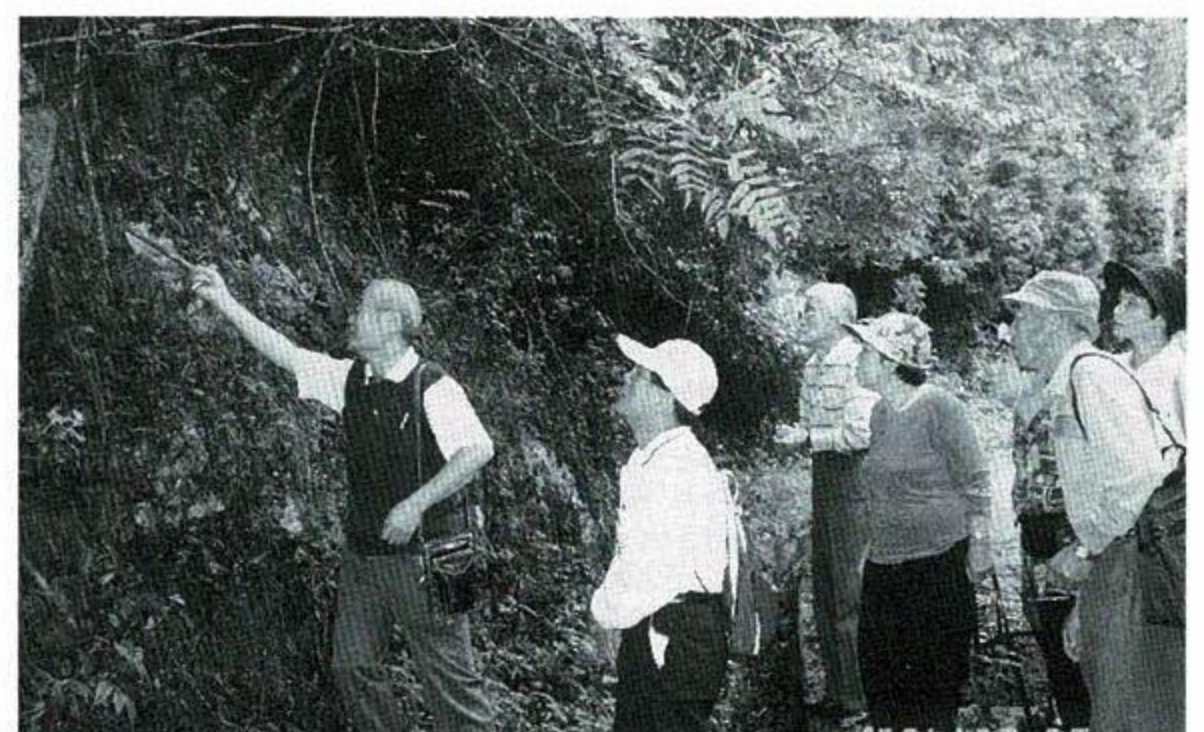
平成9年 浅田耕三先生の古典講義



平成10年9月 町外研修「ふるさとむら」を見学



平成13年9月 町外研修「神戸グリコピア」



平成12年9月 山崎断層を学ぶ



平成16年3月 修了式



平成14年9月 町外研修「西播磨総合庁舎」視察



シルバーパソコンボランティアのみなさん

(順不同・敬称略)

《文字入力パソコンボランティア》

大段 和子 岡田 薫 小椋 鉄夫 川根 好廣
 桜井 美代子 長井 一郎 北條 茂幸 松本 光代

《題 字》 松 本 衛

《表紙写真》 遠 藤 忠 雄

《写真資料提供》

『ふるさと文化再発見アクションプラン』事業受け入れ老人クラブ

谷老人クラブ (会長 上杉康雄)

小野老人クラブ (会長 上橋 実)

今市老人クラブ (会長 橋元 進)

齊木1・2区老人クラブ (会長 岩田 仁)

水谷老人クラブ (会長 岡前勇夫)

飯見老人クラブ (会長 大柿裕男)

原・原有賀老人クラブ (会長 岡田清之)



編 集 委 員

『掘り起こそう わがふるさと 総集編』

- 平成15年 9 月 第 1 回編集委員会
 編集委員・パソコンボランティア交流会
- 平成15年10月 第 2 回編集委員会
- 平成15年12月 第 3 回編集委員会
- 平成16年 1 月 第 4 回編集委員会
- 平成16年 2 月 第 5 回編集委員会
- 平成16年 3 月 第 6 回編集委員会

《監 修》 日本ペンクラブ会員 浅田 耕三

《編集委員》

赤松 末吉 大谷 幸子 大成 みちよ 河野 トミエ
 中岸 幸大 中田 光子 中谷 こめ

編集後記

ふるさとに伝わる歴史や文化、風習を掘り起こし『取材記録集』として残し伝えようというメイプル大学院創設当初からの志が大切に受け継がれ、ようやくここに総集編が刊行されました。創設当初より今日までメイプル大学院をお導きくださいました、浅田耕三先生をはじめ、携わっていただきました多くの皆さまに心より厚くお礼申し上げます。

大学院生はもとより皆さまのお力によって、ふるさとの先人よりこの土地に伝わる豊かな暮らしぶりが総集編の中に収められました。一頁、一頁にふるさとへの愛着と誇りが感じ取られ、私自身もこの町に生まれ育った一員として喜びを共有しています。

第一集から第十集までの内容を編集するにあたって、記述内容に重複がみられること、執筆者の出身にかたよりがあり文章の舞台が同じところが多いなど、今後検討すべき課題も明確にすることができました。また、年代表記や表現方法などにも曖昧な点や誤りもあるかとは思いますが、今後はより一層多くの方々にメイプル大学院へ参加いただき、こういった課題も克服しながら、ふるさとの発掘に向けてより幅広い活動へと繋がっていくことを祈念いたします。

波賀町教育委員会生涯学習課 大谷 奈雅子

『掘り起こそう わがふるさと 総集編』

平成十六年三月発行

編集 メイプル大学院

発行 波賀町教育委員会

兵庫県宍粟郡波賀町上野二五七

☎ (〇七九〇) 七五―二九七八

印刷 (株)支林館印刷所

兵庫県宍粟郡山崎町山崎五三

☎ (〇七九〇) 六二―一一四七

